

第13回

信州ずくだせ落語会

入船亭扇遊・林家正蔵・古今亭菊之丞



見るからに江戸前の“いなせな風貌”といい、その粋で明るい芸風は、いつの間にか観客を江戸情緒の世界へと引きこむ古典落語の名手である。口跡(せりふ回し)や表情や所作がきれいであり、その品格さえ感じる高座はまさに本格派。芸術祭選奨文部科学大臣賞と紫綬褒章を受賞している落語界の重鎮である。



若い頃からテレビで活躍し、落語界の大名跡である“正蔵”を襲名してからは精進に精進を重ね、その温かい人柄から語られる古典落語は非常に高く評価されていて、文化庁芸術選優秀賞など受賞。噺家たちの人望も厚く、伝統と格式ある落語協会の会長に選ばれ、今後ますますの活躍が期待されている。



その名の通り風貌は歌舞伎の女形か、大店の若旦那のようであり、いまでは数少なくなった江戸っ子気質の噺家である。芸術選奨文部科学大臣新人賞などを受賞し、古今亭の正統派落語を受け継ぎながらも、その独特の粋と艶っぽさがある高座は、非常に高く評価されている。「ずくだせ」初登場である。



林家にま平(ニツ目)

正蔵師匠の弟子にして実の息子である。落語界初の四代目真打になる事を大いに期待されている前途有望な若き噺家。

◆ 日時 2026年**9月27日**(日) **開場** 午後2時30分 **開演** 午後3時00分

◆ 会場 佐久平交流センター ホール

◆ 料金 大人指定席 2,500円 大人自由席 2,000円 小中高生全席 1,000円

※誠に申し訳ございませんが、未就学児童の入場はご遠慮願います

チケット
販売窓口

信州ずくだせ落語会事務局(Tel0120-334-152)
佐久平交流センター(Tel0267-67-7451)



お申し込みは
こちらからも
できます

◆ 主催 信州ずくだせ落語会・実行委員会(大井建設工業株式会社)

◆ 後援 一般社団法人 佐久法人会

総合企画 海老原 靖芳

なお、落語会の収益金は能登半島地震災害義援金として石川県に寄付致します。